

さいたま市の概要

さいたま市は、平成 13 年 5 月 1 日に浦和市・大宮市・与野市の 3 市合併によって誕生した埼玉県の県庁所在地かつ県下初の 100 万人都市であり、東は岩槻市、西は川越市・富士見市・志木市・朝霞市、南は川口市・蕨市・戸田市、北は上尾市・蓮田市に接する。東京都心から 20～30 km 圏に位置し、人口 1,049,834 人、世帯数 420,152 世帯（人口・世帯数何れも平成 14 年 9 月 1 日現在）、面積 168.33 k m²（東西約 18.4 km、南北約 15.3 km）を有する、行政、経済、芸術、文化の面で埼玉県における中核的な機能を有する都市である。

古くは、中山道の浦和宿・大宮宿として発達した。現在、「大宮」駅は東北・上越・長野等の新幹線 5 路線のほか、東北・上信越・埼京・川越・東武野田線及びニューシャトル等鉄道の結節拠点であり、東日本の玄関口としての位置にある。

また、平成 12 年 5 月 5 日に街開きした「さいたま新都心」には、さいたまスーパーアリーナ等の中枢・中核施設が整備され、国の 18 機関が移転した。これらを契機に関東圏域の行政、経済、文化を牽引する一体的な中枢地域として発展することが期待されている。

このようにさいたま市は、首都圏の一翼を担う業務核都市としてさらなる発展を期待されている。

平成 14 年 10 月 4 日作成